

日経平均株価

3万3189円04銭

▼45円10銭(前日比)

TOPIX

2288.60

▼7.65(前日比)

2023

7/3

月曜日

発行元 株式会社 株式市場新聞社

〒541-0058

大阪市中央区南久宝寺町3丁目2-7

TEL 06-6105-1904



バイオ燃料の普及加速

ユーグレナなど関連銘柄を狙う



F-2B戦闘機へユーグレナのSAFを給油する様子

バイオ燃料の普及加速は、ユーグレナなどのバイオ燃料メーカーが、航空機用再生燃料(SAF)などのバイオ燃料を開発していることが、これまでに明らかになっている。ユーグレナは、バイオ燃料の生産能力を拡大し、航空機用の再生燃料(SAF)の供給を開始している。ユーグレナは、バイオ燃料の生産能力を拡大し、航空機用の再生燃料(SAF)の供給を開始している。

ユーグレナは、バイオ燃料の生産能力を拡大し、航空機用の再生燃料(SAF)の供給を開始している。ユーグレナは、バイオ燃料の生産能力を拡大し、航空機用の再生燃料(SAF)の供給を開始している。

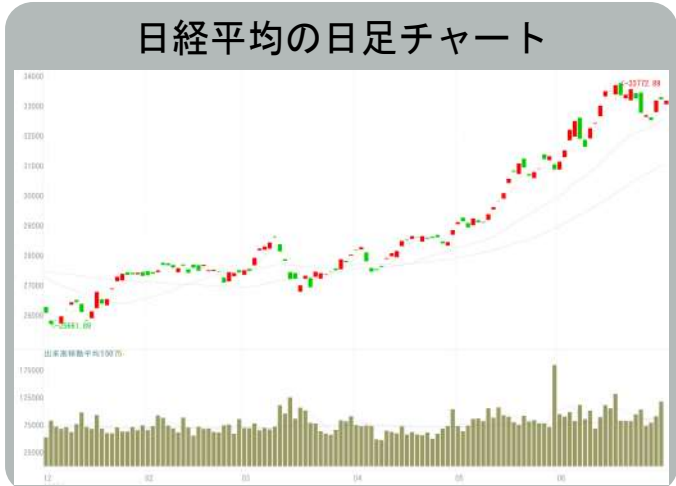
乗用車についてはE V(電機自動車)が本命視されてきたが、電池製造に鉱物資源が利用されたり、電力需給の逼迫懸念があり、脱炭素の決め手にならない

と疑問視する向きもある。加えて大型トラックや航空機については電力で完全に賄うことは不可能であり、既存のエンジンにバイオ燃料を利用する動きが活発化

ユーグレナは、バイオ燃料の生産能力を拡大し、航空機用の再生燃料(SAF)の供給を開始している。ユーグレナは、バイオ燃料の生産能力を拡大し、航空機用の再生燃料(SAF)の供給を開始している。

政府対象広げ支援に動く

経済産業省が脱炭素化に向けて、海外で植物や廃食用油などを原料とするバイオ燃料の確保に取り組み日本企業の支援に動き出している。航空機用再生燃料(SAF)などのバイオ燃料は環境負荷が低いことから世界的に争奪戦の動きになりつつあり、供給網を強化することが喫緊の課題となっている。法改正を行い、所管する独立行政法人のエネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)の業務範囲拡大などが報じられており、関連銘柄は中長期的に注目されよう。



ユーグレナ(2931)のミドリムシ由来のバイオ燃料「サステオ」でフライトに成功、今年6月には航空自衛隊戦闘機にも初給油している。三井物産(8031)とコスモエネルギーホールディングス(5021)傘下のコスモ石油は、2027年度までに年22万キロリットルのバイオ燃料のSAF生産を目指している。

6月第4週の動意銘柄

ピアズがストップ高

凸版にオンライン接客提供

週明け19日、ピアズ(7066)がストップ高。子会社のQualiagr(7911)提供の「VoiceBiz」にオンライン接客システム「Videocallcenter SYSTEM」の機能を提供すると発表した。VoiceBizは多言語コミュニケーションを

ニデック(6594)が新値追い。米

ニデックは空飛ぶクルマ

国子会社のニデックモータがブラジル航空機大手エンブラエルと航空産業向け電機駆動システム合併会社を設立、「空飛ぶクルマ」の部品事業に参入すると発表した。出資比率はニデックモータが51%で本社を米国セントルイスに設立、両社のブラジルやメキシコの既存工場を活用して製造を開始する。

修正下方ナカ・キタバ

ツバキ・ナカシマ(6464)が急反落。23年12月期予想を連結売上収益で860億円から800億円(前期比1.2%増)、営業利益で90億円から45億円(前期90億6500万円(赤字)へ下方修正した。オランダのスタンピング部品工場閉鎖の費用を計上。

小判大株のいい正直

前週の東京市場は反発しました。日経平均は前の週から407円上昇していますが、週初26日、27日と調整地合いが続きましたが、25日線に接近したところからは下げ渋り、28日は米国株高を受けて600円を超える急上昇になりました。39日は年金基金のリバランス売りへの警戒感から朝高のんだもののプラスで引逆に朝安の後引き戻し落ながら日足は陽線で回って引けています。日経平均は目下値は堅そうで、先底入れ感が出ており、ですが、ETF分配金捻出売りや米利上り長期化が懸念されるなか週末に米雇用統計発表を控えていることから上値も重いでしょう。全般

狙う銘柄の出直りから25日線

花咲翁 膠着感が強まれ株や中小型株に資金が向かうと考えられ、25日線から出直り高値を志向する腰の強い銘柄を狙う考えです。



ピアズの日足チャート



5大商社株買い進まれる

20日、大手商社株が買い進まれた。ウォーレン・バフェット率いる米保険・投資会社のバークシャー・ハサウェイが日本の商社株5銘柄の出資比率を引き上げたと伝わった。各社が保有する自社株を除外し、平均で8.5%超と

ベクタはユライイと協業

東京海上ホールディングス(8766)、SOMPOホールデ

東京海上ホールディングス

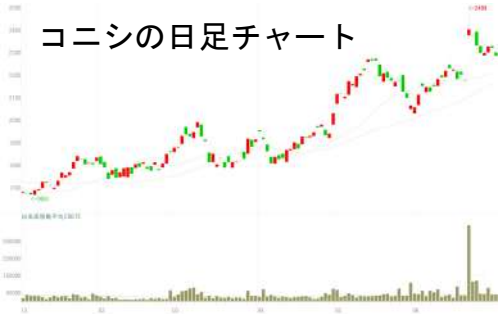
インゲス(8630)など大手損保株が大幅安。東京海上日動火災保険など大手4社が企業向けの火災保険料を事前に調整していた疑いで金融庁が報告徴求命令を出していたと伝わった。過去の実績を反映した水準からかけ離れた高い保険料を私鉄グループの東京急行電鉄(9005)側

三栄建公安委から勧告

21日、三栄建築設計(3228)が急落、年初来安値を更新した。東京都公安委員会から暴力団排除条例に基づく勧告

を受けたと発表した。創業者の小池信三元社長が指定暴力団住吉会系の暴力団組員に額面約189万円の小切手を交付していたことが明らかになった。不正防止に必要な措置を策定したが、事業への影響が懸念された。

コニシの日足チャート



する割合8・47%
または50億円と買
い付け規模が大きく
株価浮揚効果を期待
した買いが向かった。
取得期間は6月21
日〜24年3月29
日。株主への利益還

コニシは急伸し新値

8.5%の自己株式取得枠設定

21日、
コニシ
(495
6)が急
伸し年初
新高値を
更新。自
己株式取
得枠の設
定を発表
した。上
限300
万株(発
行済株式
総数に対

元と資本効率の向上
を図るため。
公開価格の2.3倍

シーユーシの初値
シーユーシー(9
158)が東証グロ
ー市場に新規上場
公開価格1920円
の2・3倍となる4
430円で初値が生
まれた。医療機関支
援事業、居宅訪問看
護事業と在宅ホスピ
ス事業を行う。

小僧寿し大量行使完了

22日、小僧寿し
(9973)が急伸、
25%超の値上がり
となった。昨年11
月21日に発行した
EVOFUNDを割
当先とする第13回
新株予約権の大量行
使が全て完了したと
発表したことから需
給不安解消による目
先の買いを誘った。

公開価格の2.1倍

リアルゲイトの初値
リアルゲイト(5
532)が東証グロ

公開価格76%上回る

オービスシステムの初値
システム(55
76)が東証
スタンダード
市場に新規上
場、公開価格
1710円を
76%上回る301
0円で初値が生まれ、
その後はストップ高。
金融、産業流通、社
会公共、ITイノベー
ションを展開するシ
ステムインテグレー
ションサービス事業。

ー市場に新規上場、
公開価格1790円
の2・1倍となる3
810円で初値が生
まれ、その後はスト
ップ安となる311
0円ウリ気配。同社
は不動産に関するコ
ンサルタント業務、
不動産売買業務、不
動産仲介業務、不動
産賃貸業務、不動産
管理運営業務、建築
設計監理業務、建築
及び内装工事請負業
務、損害保険の代理
店業務を行う。

松井証券

今こそ始めるデイトレード

松井証券の一日信用取引

手数料 0円 金利・貸株料 0~1.8%

取引
コスト

プレミアム
空売り

独自
サービス

最短3分でお申込み完了!

【無料】新規口座開設はこちら
marketpress.jpのバナーをクリック

イメージマジック一時S高

協働ロボット販売総代理店

22日、イメージ・マジック(7793)が急伸、一時ストップ高まで買われた。

協働ロボットアームのリーディングメーカー、CGXi社(中国江蘇省)と日本国内販売総代理店契約を結んだと発表したことを受け、早期収益貢献を期待した買いを集めた。オンデマンドプリント業界向けに低コストで導入容易な協働ロボットソリューションの開発と販売を開始す



週末23日東京電力ホールディングス(9501)が大幅続伸、年初来高値を更新した。柏崎刈羽原発の再稼働を巡り、原子力規制委員会が原発事業者としての「適格性」を再確認すると決めたと伝わった。テロ対策の不備に関する追加検査と並行して実施する。小早川智明社長は対

東電HD原発適合性

策の不備解消への仕組みについて「7月中をメドに形をつくりたい」と明言したとしており、再稼働に向けて準備が進んでいると判断された。

クボテックはストップ高

クボテック(7709)がストップ高。オーストリアのグラーツ工科大学などが円盤を回転させる「フライホイール」を利用したエネルギー貯蔵システムの試験機を開発したことを受けて、CFRP製フライホイールを製作する同社に連想買いが入った。

公開価格の5.2倍

アイデミーの初値 前日に東証グロ

ソシオネクスト値崩す

週明け26日、ソシオネクスト(6526)が11%超の急落。AIによるシリ

コン需要のブーム期待に後押しされ、株価は昨年12月28日の安値5360円

6月第5週の動意銘柄

を底に6月21日には5.3倍の2万8330円まで急騰、その後は大手証券の投資判断引き下げなどもあり、利益確定売りで値を崩した。

公開価格の1.3倍

ARRアドバンの初値

前週末に東証グロス市場に新規上場したARRアドバンステクノロジ(55

公開価格23%上回る

QLSHDDの初値

QLSホールディングス(7075)が名証ネクスト市場に新規上場、公開価格を23.1%上回る800円で初値をつけた。保育、介護福祉と人材派遣などを行う。

転ばぬ先のテクニカル

上半期を振り返って

早いもので上半期が終わりました。日経平均株価は大発会に急落し正月早々から不安なスタートとなりましたが、その日の安値の2万5661円が年初来安値で、その後は33年ぶりの高値へと急騰していききました。6月19日には3万3772円高値まであり、安値から8111円もの暴騰となりました。

昨年末に九星気学と干支からみた相場予測を掲載しましたが、過去の卯年相場から今年の日経平均の目標値は3万1930円、四緑木星からは3万5060円としました。半年で第一目標値を大きく上回ることになっています。

今後の展開は難しいのですが、3万5060円を目指す前に、1月から6カ月連続で上昇してきたために、7月~8月は一旦調整局面になるのではないかと思います。押しは上げ幅に対する1/3押しとなる3万1000円が理想的です。

日々勇太郎



130円下限に安定配当

大和ハウス工業

大阪で定時株主総会を開催

大阪市北区梅田のザ・リッツ・カールトン大阪で第84期定時株主総会を開催した。前田忠利常勤監査役から適正である旨の監査報告の後、事業活動を映像で紹介。議長を務める芳井敬一社長が「収益モデルの進化」「経営効率の向上」「経営基盤の強化」の3つの経営方針のもと重点施策に継続して取り組むとともに、株主還元は「年間130円を下限として安定配当を実施する」意向を表明した。

事前に質問があった大和リゾー ト売却については「経営体質改善

にはホテル経営のノウハウが必要」と説明。会場での質問・意見に対してはグループの連携を強めて賃貸住宅オーナーの収益を改善するとともに集合住宅事業を強化、リスク管理を徹底してコンプライアンスと収益拡大を両立するほか、自社株買いと株式報酬比率は中長期視野で引上げを検討する考えを示した。男性の育児休業、女性役員比率拡大には目標数値を掲げて取り組みを強めていることを報告。最後に剰余金の配当、取締役13名選任、監査役1名選任、取締役賞与支給の4つの議案を賛成多数で承認、可決された。

企業レター

大和ハウス工業

25)は6月29日、大

JSRがストップ高

産業革新投資機構が買収

26日、半導体を戦略物資と定め、素材から製品までサプライチェーンを強化する動きで、東京応化工業(4186)やFUJIMI



海運バルチック上昇

27日、日本郵船(9101)や商船三井(9104)、川崎汽船(9107)、ユニテッド海運(9110)の大手海運株が買い進まれた。バルチック海運指数が6月上旬を底に上昇に転じて1カ月反ぶりの水準に戻ったことが見直し材料。米国では低PBRなどバリュー

株物色となつてきていることも一因になった。**公開価格の3.2倍**ブリッジコンサルの初値 前日に東証グロース市場に新規上場したブリッジコンサルティンンググループ(9225)が公開価格1300円のもの3.2倍の4110円で初値をつけた。公認

I(5384)、大阪有機化学工業(4187)、東洋合成工業(4970)など半導

体材料株に買いが広がった。

会計士人材の経験・知見のデータベース・最適配分を通じた経営管理の課題解決を支援するプロシエアリングと付帯関連事業を行う。**公開価格27%上回る** エリッツHDの初値 エリッツホールディングス(5533)が東証スタンダード市場に新規上場、公開価格1580円を26.5%上回る2000円で初値をつけた。不動産賃貸、ファンド、コンサルなど関連事業と人材紹介、システム開発、販売を行うグループ会社の経営管理と帯する業務を行う。

公開価格の2.1倍 プロデライトの初値 28日、プロデライト(5580)が東証グロース市場に新規上場、公開価格1440円を2.1倍の3000

5円で初値を付けた。自社開発のIP電話用クラウドPBX「INNOVERA」など、音声コミュニケーションのDXに向けたワンストップ・ソリューションを提供。

公開価格8%下回る GSIの初値 GSI(5579)が名証ネクスト市場に新規上場、公開価格1350円を8.0%下回る1242円で初値をつけた。ソフト・システム開発の常駐支援、運用保守と受託開発を行う。

公開価格8%上回る クオリプスの初値 クオリプスの東証グロース市場に新規上場、公開価格1550円を7.7%上回る1680円で初値をつけた。再生医療製品、特定細胞加工物の研究、開発、製造、販売と受託開発製造、コンサルテーションを行う。

SBG7000円視野

も上値を迫り、一時は6830

先週の東京市場は日経平均で3万2500円割れまで突っ込んだ後に3万3000円台まで一気に戻し、月末30日はリバランスに絡む売りなどで膠着状態になりました。かねてより3万2500円割れから戻すと会員ページでも指摘してましたので想定内の動きです。7月に入れば買戻しが入ると見えています。こうした中、当欄の一貫推奨銘柄であるソフトバンクグループ(9984)

野村HD押し目買い

円台と180円高まで一気に突っ走る場面がありました。引けではさすがに利益確定売りなどで上げ幅を縮小しましたが、6737円と87円高で終え、30日は6800円台まで買われていきます。週初めは調整していましたが、早くも先週末の終値を超える水準に転じ、株主総会につけた6900円台まで戻すかどうかが焦点になってきました。孫会長のただならぬ経営の自信を考えますと7000円台を目指してもおかしくないとみています。一方、野村ホールディングス(8604)は今後、560円台までの回復は十分考えられます。550円以下の水準は魅力です。銀行株です。銀行の緩急が少し変化していくとみられますので、注目を怠りません。三井住友(8316)には引き続き注目。

高野恭壽の株式情報

これでどや!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



前場の段階では6550円まででもみ合う動きとなり、後場になると6650円を抜け、ス圏とを抜け、なり、その後引き続き注目。

高野恭壽(たかのやすひさ)氏 株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家へ。講演会のほかラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに出演。「株式投資30カ条」など著書も。公式ホームページ

<https://marketpress.jp/kabu-takano/>

YEデジタル急伸し新値

デジタル投資好調で上方修正

28日、YE DIGITAL(2354)が急伸、年初来高値を更新した。24年2月期第1四半期の連結決算は営業損益1億7900万円の黒字(前年同期3500万円の赤字)に浮上、第2四半期累計予想を2億円から3億8000万円(前年同期比2.7倍)に上方修正した。ビジネス・IoTソリューションともデジタル関連投資が好調に推移

ノイルイミューンの初値ノイルイミューン公開価格6%下回る

ン・バイオテック(4893)が東証グロース市場に新規上場、公開価格740円を6.1%下回る695円で初値が生まれた。同社はCAR-T細胞療法を主とした新規がん免疫療法の開発を行う。



YEデジタルの日足チャート

ニチリョク本堂葬儀開始

「ニチリョク本堂葬儀」を開始することが好感された。顧客からの要望を顧み、近年主流の葬儀会館ではできない荘厳で格調高い葬儀を提供する。

J・フロントリテイリング(308)「フロント過度な事前期待」

29日、ニチリョク(7578)が5連騰で年初来高値更新。7月1日から檀家ではない人も歴史ある寺院の本堂で宗派の法式に則って葬儀を執り行える新サービス「本堂葬儀」を開始することが好感された。顧客からの要望を顧み、近年主流の葬儀会館ではできない荘厳で格調高い葬儀を提供する。

公開価格の2.3倍

WW TOKYOの初値(9159)が東証グロース市場に新規上場、公開価格3000円の2.3倍と

値が生まれた。TKYO GIRLS COLLECTIOのブランドを活用したブランドインデュース事業を行う。

高値圏レンジ相場へ

大勢長期上昇変化なし

4月以降大幅買い越しを続け

光世証券

取締役

西川 雅博 氏

てきた外国人投資家だが、6月第3週は現物で3604億円と13週ぶりの売り越しとなった。一方、個人は3446億円と大幅買い越しである。この週末あたりから上昇ピッチが鈍り、日経平均では3万3000円台後半で上値が重くなった。外国人には依然買い余力がありファンダメンタルにも大きな変化はないが、短期の上昇幅が大きかっただけにテクニカルな調整は致し方ないだろう。

バリユエーションで見た場合、2006年以降で算出した日経平均予想PER（構成ウエイトを考慮した値）のレンジ上限（+1標準偏差）は3万3363円である。今回の上昇局面では6月14日に初めて到達した。その後は3万3500円〜3万3800円のゾーンを何度もチャレンジして跳ね返され、やはり上値の壁となっている。



過去、株価急上昇後にこのPER上限を超えたのは2013年のアベノミクスと2015年の黒田バズーガII後ラリーの2

相場展望

回見られ、いずれも急激な上昇相場は一旦終息している。2

期間は2カ月〜3カ月が想定される。

6月29日発表の米国の新規失業者保険申請件数が予想外に大幅減少となり、景気後退懸念がやや薄らいだ格好だ。ただ、先に発表された6月米PMI速報値は53.0と3カ月ぶり低水準で、米経済の方向感には相変わらずはつきりしない。金融政策の見直しも短期間で目まぐるしく揺れ動いている。現在はややタカ派に転じたが、1カ月程度の時間軸でも全くあてにならない観測だろう。言い換えれば、市場が極端な樂觀や悲観に偏り過ぎるのを嫌うFRBのコントロールがうまく機能している状況と解釈出来る。来年の大統領選を控え、ソフトランディングの成否が判明するまでにはまだ相当な時間がかかりそうだ。

このように米国市場でゴールドロックスあるいは中立的状況が続くことは、グローバル資金の向かう先として日本株の優位性が継続することにつながる。テクニカル面では上昇相場が一服しレンジ相場が想定される局面だが、大勢長期上昇の方向感は変わらないだろう。繰り返しになるが、弱気に傾きがちな場面ほどデフレ脱却の歴史的転換期を迎えていることを意識したい。低PBR・高配当利回りと円安メリット株の押し目狙い。個別では日本製鉄（5401）、川崎重工（7012）、三菱UFJ（8306）。

高島屋は大幅反発

1Q66%営業増益で通期増額

週末30日、高島屋（8233）が大反発。24年2月期第1四半期決算は計画を上回り、連結営業利益で前年同期比66.4%増の110億3800万円を着地、通期予想を350億円から前期比15.3%増の375億円に上方修正した。コロナの収束傾向による社会経済活動の活性化もあり、入店客数が増加したことに加え、インバウンドを除く国内顧客売上高は、婦人服、紳士服、化粧品など、ファッション関連商品を中心に堅調に推移した。

公開価格54%上回る

クラダシの初値

クラダシ（5884）が東証グロース市場に新規上場、公開価格520円を53.8%上回る800円で初値が生まれた。同社はソーシャルグッドマーケット「Kurdashi」の企画・制作・運営を行う。

公開価格10円下回る

ノバレーゼの初値

ノバレーゼ（9160）が東証スタンダード市場に新規上場、公開価格600円を10円下回る590円で初値をつけた。結婚式場とレストラン運営を行う。

公開価格の2.4倍

ジーデップの初値

ジーデップ・アドバンス（5885）が東証スタンダード市場に新規上場、公開価格4510円の

8月20日（日）開催！

株式評論家 高野恭壽による株式教室



8月20日（日）に是非聞きたい講師で全国第一位（2007年、2008年）にも選ばれた株式評論家 高野恭壽氏の株式教室を開催します。

高野恭壽氏は今春からの急騰相場でもソフトバンクグループ<9984>など数々の大幅上昇銘柄をいち早く紹介しました。

今回は株式投資初心者の方にも解りやすく、失敗しない投資のノウハウを集中講義、銘柄選別やテクニカルチャート、需給動向など安定運用のノウハウを紹介します。

参加希望の方はお問い合わせページからお申込みください。学費の支払い方法を含めて詳細を返信でご案内いたします。

会 場	大阪産業創造館
開催予定日	2023.8.20(日)
時 間	第一部 午前10:00~11:30 第2部 午後 12:30~14:00
料 金	18,000円
申込み期間	2023.7.31まで

株式市場新聞

marketpress.jp



参加申し込みは公式ホームページのお問い合わせフォームから！

厳選

活躍期待銘柄



日立造船(7004)

全個体電池への期待高まる

日立造船(7004)の株
価は6月14日に931円ま
で上昇した後、利益確定売り
などから900円割れまで下
押す場面があったが、再度の
上値追いつながっている。貸借
倍率0.87倍で需給も良好
で3月7日の年初来高値97
4円を抜ければ21年9月1
7日にザラ場で付けた101
0円奪回も視野に入りそうだ。
次世代電池の本命と言われ
ている全個体電池では従来比
で容量5000mAhの全固
体リチウムイオン電池を新た
に開発、国際宇宙ステー
ション「きぼう」では世
界で初めて宇宙空間での
充放電を確認しており、
幅広い分野での
利用が期待され
る。24年3月
期は国内・海
外ともにごみ焼
却発電施設建設
工事の大口案件
を多数受注して
おり、営業利益
では前期比9・
7%増の220
億円を見込んで
おり、業績も好
調。

ごみ焼却発電も大口案件多数

日立造船(7004)の株
価は6月14日に931円ま
で上昇した後、利益確定売り
などから900円割れまで下
押す場面があったが、再度の
上値追いつながっている。貸借
倍率0.87倍で需給も良好
で3月7日の年初来高値97
4円を抜ければ21年9月1
7日にザラ場で付けた101
0円奪回も視野に入りそうだ。
次世代電池の本命と言われ
ている全個体電池では従来比
で容量5000mAhの全固
体リチウムイオン電池を新た
に開発、国際宇宙ステー
ション「きぼう」では世
界で初めて宇宙空間での
充放電を確認しており、
幅広い分野での
利用が期待され
る。24年3月
期は国内・海
外ともにごみ焼
却発電施設建設
工事の大口案件
を多数受注して
おり、営業利益
では前期比9・
7%増の220
億円を見込んで
おり、業績も好
調。



NECキャピタル(8793)

PER8倍台でPBRは0.6倍

NECキャピタル(8793)は
大勢上昇トレンドのなか、5日移動
平均を下値支持ラインに過熱
感なく下値を切り上げ、連日
で年初来高値を更新、一段高
を志向してきた。
NECグループのリース大
手で、情報通信機器リースは
民間案件が積み上がり、イン
ベストメント事業はベンチャ
ー投資の回収案件が増加。2
4年3月期は連結売上高26
00億円(前期比0.7%増)、
営業利益120億円(同2・
4%増)と5期連続増収、
3期連続増益を見込む。
着実な業績の伸びに伴い
年間配当を130円(前
期110円)へ
連続増配を計画。
PER8倍台
と割安で、PBR
は0.6倍と資
産価値を大きく
割り込んでい
る。配当回りも4
%を超えており、
13年に付けた
上場来高値43
80を目指して
噴き値局面が近
い。

今期も連続増収増益増配計画

NECキャピタル(8793)は
大勢上昇トレンドのなか、5日移動
平均を下値支持ラインに過熱
感なく下値を切り上げ、連日
で年初来高値を更新、一段高
を志向してきた。
NECグループのリース大
手で、情報通信機器リースは
民間案件が積み上がり、イン
ベストメント事業はベンチャ
ー投資の回収案件が増加。2
4年3月期は連結売上高26
00億円(前期比0.7%増)、
営業利益120億円(同2・
4%増)と5期連続増収、
3期連続増益を見込む。
着実な業績の伸びに伴い
年間配当を130円(前
期110円)へ
連続増配を計画。
PER8倍台
と割安で、PBR
は0.6倍と資
産価値を大きく
割り込んでい
る。配当回りも4
%を超えており、
13年に付けた
上場来高値43
80を目指して
噴き値局面が近
い。

潮流

急落局面は買いの好機

円買い介入メリットは何もない

marKet / bAnk

日本銀行の植田総裁は6月28日、2024年度に物価上昇率が高まってくる

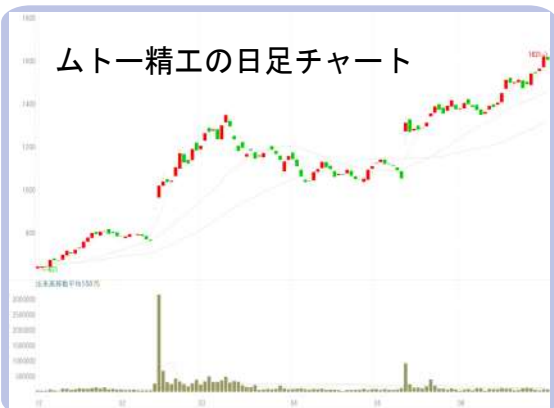
ことに確信が持てれば、日銀が金融政策を変更する理由になると述べた。

ただ、現時点では、日銀が示す2024年度の物価上昇率見通しの達成に「あまり自信がない」とも述べ、これまで続けている大規模な金融緩和の修正に慎重な見方を示した。

日銀の金融緩和持続で「円売り・ドル買」いが優勢となり、ドル円レートは1ドル=144円60銭台、1ユーロ=158円寸前まで約15年ぶりの円安水準だ。「円安=株高」となる図式は変わらない。財務省の神田真人財務官は円安について「高い緊張感をもって注視する」としたうえで、介入の可能性を巡っては「どんなオプションも排除しているわけではない」と語った。

さらに、鈴木財務相が円安について「最近では急速で一方向的な動きもみられる。行き過ぎた動きに対し、適切に対応する」と語った。5月の財務省、金融庁、日銀による3者会合より、神田氏の発言はより踏み込んだ内容に切り替わっている。一方、市場は当局による為替介入への警戒感と日米の金融政策の違いに着目したドル買い意欲の強さが交錯している。

ムトー精工の日足チャート



日銀が円買い介入を行なった場合、株価は急落することは昨年10月の

円買い介入で示されている。株価を急落させる金融政策に何のメリットもない。米国のインフレが沈静化すれば急速に円高・ドル安に向かうことになるのだ。

今、政府が行なう政策は積極財政である。物価高で苦しむ国民を援助するために政府が大胆な資金援助や減税を行なうことだ。円買い介入をしても国民のメリットは何もない。

6月19日に日経平均は3万3772円まで上昇し、バブル後の高値を付けた、その後6月27日には3万2306円まで1466円急落したが、29日には円安と半導体株の戻りで一気に3万3527円まで1221円戻した。今回の急落は外国人投機筋による大口の株指先物売りがきっかけで、後から大口の現物売りも出た。急上昇したのも外国人投機筋による株指先物買いが要因である。6月末の国内年金売りと7月上旬に上場投資信託（ETF）の分配金捻出に伴う売りへの警戒感は続きそうだ。急落局面は買いのチャンスに変わりない。

潮流銘柄はムトー精工（7927）、三菱ケミカルグループ（4188）、日本精線（5659）。



岡山憲史氏（株式会社マーケットバンク代表取締役）のポートレート

「第1回S1グランプリ」にて1万人超の参加者の中から優勝。2002年にNHK番組「経済最前線」にて独自の投資支援システムが紹介された。直近では2022年1月の夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」で優勝。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。<http://marketbank.jp>

ETF分配売りへ警戒続く



敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール
証券アナリストから証券会社の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

先週の日経平均は前週末比約407円高と反発した。月末特有のリバランスがあったにもかかわらず押し目買い意欲が強く上昇した。先週で上半期は終了したが半年で日経平均は27.2%、TOPIXで21%、マザーズ指数で11.7%上昇した。これら3指数とも大発会で安値を付けその後上昇、右肩上がり



懸念材料は急激に進んでいる円安

ドル円の日足チャート



安川電機の日足チャート



日経225先物の日足チャート



為替介入に警戒感

安川電機の決算を注視

で上昇している。今週から7月相場入りするが過去50年を検証すると日経平均の上昇率は7月は46%、8月は50%とアノマリ一的には強くない。だが、今年にはここ数年とは違う変化が日本にはある。さらに7カ月ぶりに為替が1ドル145円台に入るなど、海外から見れば日本はまだまだ割安に見えているようだ。筆者は先週はさすがに調整する週だと思っていたが、

38円まで回復、新値三本の陰転(3万2506円70銭)も拒否した。チャートの節目では反発しており底堅さは継続している。今週はETFの分配金捻出のため約1兆円の換金売りが予想されているが、その売りも絶対の押し目として捉えられそう。懸念材料は急激に進んでいる円安である。当局の介入も予想されるため、アルゴリズム

ム取引が相場を攪乱する可能性もある。さらに今週は7月7日の安川電機の決算発表を筆頭に第1四半期の決算が開始する。業績伸への期待が市場には強いため、最初に発表する安川電機の決算

チャートの25日移動平均線(3万2561円)ではきつちり止まり急反発した。先週は3万2306円99銭まで瞬間下落したが、引けでは3万25

う。今週は3万2800円(3万3800円)を想定する。週末にかけてETF換金売りの警戒で上値は重くなると思われる。(ハチロク)

星野三太郎の株街往来

～日本は儲からない国～

週末の

外出の際に約2年間使用していたスマートフォンが突然歪んでしまつて、数時間したら電源が付かなくなつてしまつた。修理に出しても高額な費用を請求されるので急いで買い換えることにした。端末のモデルチェンジはおおよそメーカーは1年に1回程度行すが、ハイエンドと呼ばれる10万円超えの高額機種は例外として、3万円〜6万円台のミドルレンジと呼ばれる普及価格帯の機種は、SOCと呼ばれる半導体の心臓部に進化がなく、デザインやメモリ増量程度のリニューアルでほとんど進化がないそうだ。円安や半導体不足などに起因する原材料高騰が理由だそうで、採算悪化を理由に京セラなど今年に入って国内メーカーも相次いで撤退を表明した。

半導体を大量に使用する自動車も例外ではなく、国内メーカーは値上げを表明しているが、モデルチェンジをせずに静かに生産終了する車種が増えていることにお気づきだろうか。円安や人口減少などで日本は儲からない国になつた。この状況に危機感を感ずる。



New product

ニッスイ シビ辛 辛味噌まぜそば発売

「わが家の麺自慢」シリーズから



シビ辛 辛味噌まぜそば

「わが家の麺自慢 シビ辛 辛味噌まぜそば」(家庭用冷凍食品)を7月1日から発売している。

一食完結型の冷凍麺「わが家の麺自慢」シリーズの一品として、独自技術でニンニクの風味をしっかりと効かせた汁なし麺「ニンニクマシマシ豚まぜそば」に続く第2弾。花椒の「シビ辛」と華やかな香り、赤味噌のコクを楽しめる辛味噌まぜそば。国産小麦「ゆめちから」を配合したコシがあり香り豊かな自家製平打ち麺に、直火炙りで香ばしい特製豚バラチャーシュー2枚を添えた満足感のある一品に仕上げている。

ニッスイ(1332)は花椒の「シビ辛」と赤味噌によるコクがクセになる「わが家の麺自慢」シリーズから

ゼロカーボンパートナーに

ハリマ化成

加古川市と脱炭素へ協力・連携



「ゼロカーボンシティ宣言」に賛同する市内事業

ハリマ化成グループ(4410)傘下のハリマ化成は、創業の地の兵庫県加古川市と協働、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロを目指す「ゼロカーボンパートナー」に選定された。

業者が市と協定を結び、協力連携をしながら脱炭素に向けた取り組みを推進。加古川市が提供する「省エネ診断」を通じて光熱費削減方法や再生可能エネルギー導入方策など環境保全活動を強化していく。同社グループは政府が掲げる温室効果ガス削減目標を3年前倒して27年に達成し、30年には50%削減する方針を表明。加古川製造所ではバイオマス発電設備のほか、池水上太陽光発電も開始、再エネ導入支援メニュー「エネグリーンプラン」を導入する。減に積極的に取り組んでいる。

企業レター

町田健登の ワールドマーケットナビ



さて、ここまで新興国株フィリピン株の魅力について全8回にわたってお伝えしてまいりましたが、いかがだったでしょうか？本日は総論として、今までの内容をまとめていただきます。

経済ポータス
・日本の1970年代を彷彿させる、高度経済成長真っただ中！

【フィリピン株の魅力】

- ・上場社数が少ない、わずか270社
- ・取得コストの低さ、財閥株が2000円
- ・右肩上がりのマーケット、リーマ



フィリピン取引所があるボニファシオ・グローバルシティ

【現地の証券口座の魅力】

- ・全銘柄270社が売買可能

・勝てるマーケットで戦う

・ベストなタイミングでエントリーすること

・非常に大切

・世界で相次ぐ金融機関の破綻、一触即発だったプリゴジン氏率いる民間用兵団ワグナルによるロシア内戦の危機。2023年は非常に暗雲漂う外政状況が続く中、リーマンショックの再来もささやかれる。フィリピン株はリーマンショック後、世界的にいち早く株価を回復させ、株価を躍進させてきました。短い連載期間のため、駆け足になってしまいましたが、フィリピン

株のより詳しい詳細が知りたいという方は、ぜひ、私の著書を手にとってお読みいただけますと幸いです。

著「社畜会社員から資産1億作った僕が、フィリピンの株を推す理由」社畜会社員から資産1億つくった僕がフィリピンの株を推す理由だけの理由——町田健登——本——通販——Amazon

また、ご新規様向けに定期的にオンラインにて無料でフィリピン株の勉強会を開催しております。次回の開催は6月29日（木）20時〜になります。

【お申込みURL】

https://lifeshift-ex.com/lp/

ぜひご興味ある方は参加してみてください。円安が加速する中、外貨建ての資産を持つことは、非常に大切な分散投資に繋がります。歴史的バーゲンセール

フィリピン株投資を始めよう!

外貨建資産で分散投資



町田健登氏(ライフソフト合同会社代表のプロフィール)
筑波大学卒業後、外資企業営業職を経て人材派遣会社のフィリピン駐在員。現地日系フィリピン金融ホールディングスの役員に就任。31歳で無借金、純資産1億円を達成。2020年、ライフソフト合同会社を立ち上げ独立。現在は、ファイナンシャルプランナーとして活躍するほか、在日フィリピン商工会議所理事、大妻女子大学 大妻マネジメントアカデミー 講師など社会面・教育面でも活躍。

【「フィリピン投資入門」】「フィリピン株を推すこれだけの理由」を出版。アイアンマンレース完走やキリマンジャロ山登頂など、冒険家としても活躍する。

【「フィリピン経済の魅力」】

- ・毎年GDPが6%以上継続
- ・人口ボーナスがアジア最長、2050年まで

【「現地の証券口座の魅力」】

- ・全銘柄270社が売買可能

【「限られた資金を限られた時間の中で、効率よく増やすために」】

また、ご新規様向けに定期的にオンラインにて無料でフィリピン株の勉強会を開催しております。次回の開催は6月29日（木）20時〜になります。

【お申込みURL】

https://lifeshift-ex.com/lp/

維持できるとの見解を示し、
も規制上必要な自己資本を
行すべの銀行が不況時に
相対的に規模の大きい23
ストの結果では、米国内で
RBが公表したストレステ
石となったが、29日にF
2回利上げを行うことが重
ウエルFRB議長が年内に
ECBフォーラムで、パ
強めたようだ。

後場から買い戻しの動きを
無いと見た投資家は30日
買意欲は強く、深押しが
万2500円割れでは下値
が、25日移動平均線や3
れることが警戒されていた
F)からリバランスの売り
運用独立行政法人(GPI
月末には年金積立金管理
89円04銭で引けている。
45円10銭安の3万31
動きになり、週末は前日比
6円99銭まで下落した後
に翌28日には急速に戻す

記者の視点 相場見通し

新指数絡み資金流入

米6月雇用統計には警戒

6月最終週の
東京市場は日経
平均で6月27
日に3万230

たことで金融システム不安
が後退した。ダウは25日
線や50日線を割れること
なく上昇に転じたことも安
心感に繋がったようだ。

今週は米国では7月3日
に米6月ISM製造業指数、
4日は独立記念日でニュー
ヨーク市場は休場、6日に
6月ADP雇用統計、7日
に6月雇用統計の発表を控
える。これら経済指標の内
容次第ではFRBの利上げ
動向への思惑が高まりそう
で、注意が必要。

今週のスケジュール

- ・ 3日 6月調査日銀短観
路線価公表
中国6月Caixin 製造業PMI
米6月ISM製造業景況指数
- ・ 4日 6月マネタリーベース
休場:米(独立記念日)
- ・ 5日 6月13・14日開催のFOMC議事録
- ・ 6日 米6月ADP雇用統計
米5月貿易収支
米6月ISM非製造業景況指数
- ・ 7日 5月家計調査
5月景気動向指数
米6月雇用統計
- ・ 10日 6月景気ウォッチャー調査
地域経済報告(さくらレポート)
中国6月消費者物価、中国6月生産者物価
- ・ 11日 6月マネーストック
6月工作機械受注
独7月ZEW景況感指数
- ・ 12日 6月国内企業物価指数
5月機械受注
米6月消費者物価
- ・ 13日 中国6月貿易収支
米6月生産者物価
- ・ 14日 オプションSQ
米6月輸出入物価
米7月ミシガン大学消費者マインド指数

一方、国内では日本経済
新聞社が6月30日から
「日経連続増配株指数」「日
経累進高配当株指数」の公
表を開始している。「日経
連続増配株指数」は実績ベ
ースで配当を連続で原則1
0年以上増やしている企業
のうち、その年数の上位か
ら70銘柄を上限に選んで
指数を計算、「日経累進高
配当株指数」は実績ベース
で累進配当を10年以上続
ける企業のうち、予想ベ
ースの配当利回りが高い順に
30銘柄で構成している。
加えて、7月3日からはJ
PX総研が「JPXプライ
ム150指数」の公表を開
始する。新指数に絡む資金
流入が期待できよう。

編集後記

前週は株主総会のピーク
だった。かつて幅を利かせ
ていた総会屋がほぼ姿を消
し、「物言う株主」アクテ
イビストがさらに存在感を
増している。一方、企業の
政策保有株売却やNIS A
拡充などにより個人株主は
数こそ増えているが、上場
株式に占める保有比率は低
下傾向が続いているという。
ただ、安定した株価形成の
ためには不特定多数の株主
が必要で、個人株主の取り
込みが欠かせない。
企業は個人の提案を可能
な限り受け入れ、意識を共
有して事業運営と株価対策
に取り組むべきだろう。

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。